



ひとつ月遅れの誕生日

海派か、山派か、と聞かれれば、夫は海、私は山です。それぞれ出かけたところのイメージが違いますが、お互いあまり拘りがないので、時間、天気が許せば、さっと出かける、という点では一致しています。昨日は夫の81歳のひとつ月遅れの誕生日ということで、天気が良かったため、リクエストに応じて油壺方面に釣行となりました。夫は「餌やり」と命名しています。

駐車場、歩く距離などから小網代湾の三浦道寸公の供養墓の崖下の磯が良いのではないかと思います。薄曇りで富士山は見えませんでした。二人で道具を運び、夫は陣取って、準備を始めました。手先が器用じゃないので、手間取っている様子でした。かつてはフィッシングスクールの親父の秘伝の餌を練る必要がありましたが、彼は既に亡く、今はイソメとエビが餌です。

この場所はかつては油壺マリンパークでしたが、今年からキャンプパークと衣替えしました。外周は何も変わっていません。私はキャンプパークの建物正面左の道から磯へと降りて行きました。



相模湾はかすんでいましたが、海は穏やかでとても美しく、水が綺麗でした。磯は波状の岩が広がっています。思い切って夫の陣地が見える高い崖の上まで登ってみようと思いましたが、人ひとりも

おらず、私は、「無理しちゃいけない」、「転んじゃいけない」を呪文のように心の中で唱えながら、磯を渡って、小山の崖の階段を登り切りました。湾の向こうに、遥かに夫の姿を認め、手を振りましたが気づきません。そこでスマホの出番。

お互いに手を振り合いました。なぜか満足して私は再び呪文を唱えながら駐車場に戻りました。

やがてスマホに連絡があり、終了とのこと。迎えに行くと釣果あり！カサゴと〇▽鯛、小指のようなサバ達でした。久しぶりの「餌やり」に満足気な顔でした。ひとつ月遅れの誕生日のお祝いの夕食はお煮つけとなりました。

